

第10章 気候変動への適応(地域適応計画)

- 北九州市における気候の変化と予測
(①気温、②真夏日・猛暑日、③短時間強雨、④海面水温)
- 適応策の取組内容
 - ・農業・林業・水産業
 - ・水環境・水資源
 - ・自然生態系
 - ・自然災害・沿岸域
 - ・健康
 - ・産業経済活動、国民生活・都市生活

93

北九州市における気候の変化と予測

94

①気温

【これまでの観測結果】(下関)

年平均気温は、100年あたり1.8℃の割合で上昇しています。

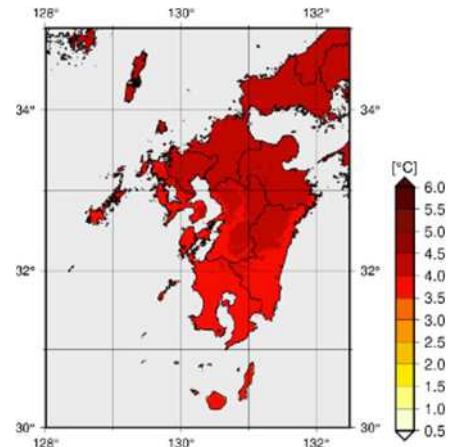
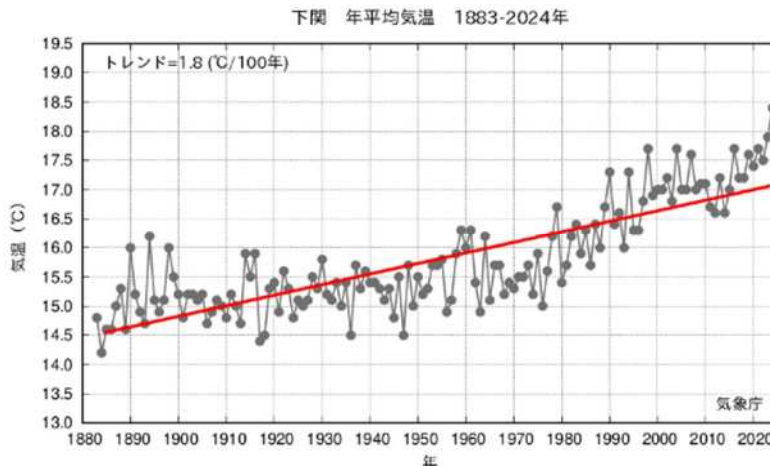
【これからの将来予測】(九州北部地方)

20世紀末に比べて、21世紀末の平均気温の上昇量は、

4℃上昇シナリオで約4.1℃、**2℃上昇シナリオ**で約1.3℃上昇すると予測されています。

4℃上昇シナリオ(RCP8.5): 21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。追加的な緩和策を取らなかった世界に相当。

2℃上昇シナリオ(RCP2.6): 21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。パリ協定の2℃目標が達成された世界に相当。



出典:(左)九州・山口県のこれまでの気候の変化(観測結果) 福岡管区気象台 webサイト
(右)九州・山口県のこれからの気候の変化(21世紀末予測) 福岡管区気象台 webサイト

②真夏日(日最高気温が30℃以上)・猛暑日(日最高気温が35℃以上)

【これまでの観測結果】(下関)

真夏日・猛暑日の年間日数は、変動を繰り返しながら増加しています。

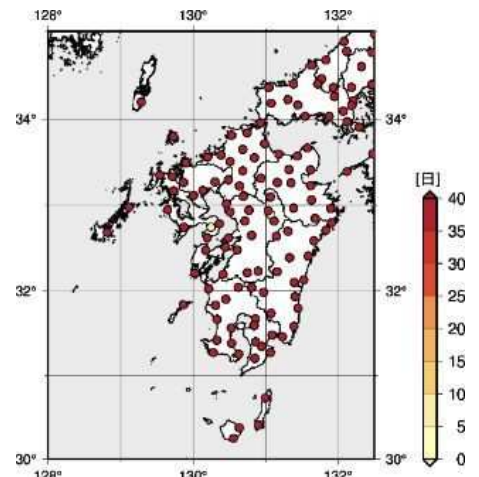
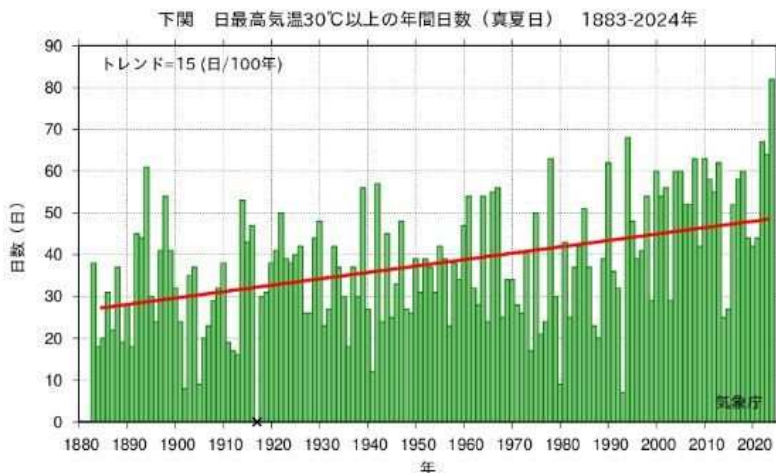
【これからの将来予測】(九州北部地方)

20世紀末に比べて、21世紀末の真夏日および猛暑日の増加日数は、それぞれ、

4℃上昇シナリオで約57日、約25日、**2℃上昇シナリオ**で約15日、約4日増加すると予測されています。

4℃上昇シナリオ(RCP8.5): 21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。追加的な緩和策を取らなかった世界に相当。

2℃上昇シナリオ(RCP2.6): 21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。パリ協定の2℃目標が達成された世界に相当。



出典:(左)九州・山口県のこれまでの気候の変化(観測結果) 福岡管区気象台 webサイト
(右)九州・山口県のこれからの気候の変化(21世紀末予測) 福岡管区気象台 webサイト

③短時間強雨

【これまでの観測結果】(九州北部地方)

短時間強雨(1時間50mm以上)の年間発生回数は増加傾向です。

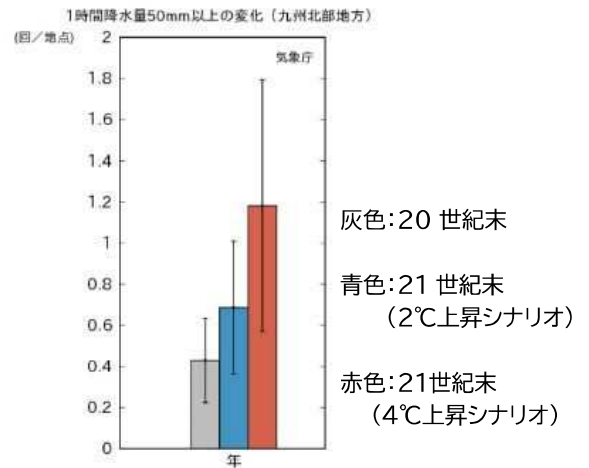
【これからの将来予測】(九州北部地方)

20世紀末に比べて、21世紀末の短時間強雨(1時間50mm以上)が降る年間回数は、

4℃上昇シナリオで約2.8倍、**2℃上昇シナリオ**で約1.6倍になると予測されています。

4℃上昇シナリオ(RCP8.5): 21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。追加的な緩和策を取らなかった世界に相当。

2℃上昇シナリオ(RCP2.6): 21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。パリ協定の2℃目標が達成された世界に相当。



出典:(左)九州・山口県のこれまでの気候の変化(観測結果) 福岡管区気象台 webサイト
(右)九州・山口県のこれからの気候の変化(21世紀末予測) 福岡管区気象台 webサイト

④海面水温

【これまでの観測結果】(九州近海)

年平均海面水温は、100年あたり1.08~1.37℃の割合で上昇しています。

【これからの将来予測】(九州近海)

20世紀末に比べて、21世紀末の年平均海面水温は、

4℃上昇シナリオで2.96~3.47℃、**2℃上昇シナリオ**で0.87~1.23℃上昇すると予測されています。

4℃上昇シナリオ(RCP8.5): 21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。追加的な緩和策を取らなかった世界に相当。

2℃上昇シナリオ(RCP2.6): 21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。パリ協定の2℃目標が達成された世界に相当。



年平均海面水温の上昇率(℃/100年)



年平均海面水温の上昇幅(20世紀末~21世紀末)

出典:日本の気候変動2025 文部科学省 気象庁